

414  
A 798  
5

極秘

第一種

極秘 種第七三號ノ一

明治三十一年七月十二日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉時澤右一第廿九報告

一 叛黨ハ外部ヨリ或ル脅迫ヲ受ケタルモノ、如ク推察セラル

二 「アギナルド」ハ其本營ヲ昨十日「カヴィテ」ヨリ「バコール」

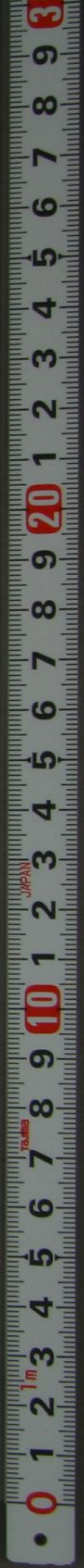
（「カヴィテ」ノ東南海上五吉米）ニ移セリ一説ニ「ブレカント」云フハ虚説ナリ

三 叛徒ノ攻撃動作ハ近來比較的活潑ナリ

四 馬尼刺ノ北方ニ在リシ叛徒ハ漸次東南ニ向テ運動シツ、アリ

五 去ル九月叛徒ハ多數ノ武器ヲ得タリトノ風説アリ

六 土人義勇兵ノ叛徒ニ投スル者漸ク衆シタクハ



七、  
「夜間交代ノ時ニ於テス  
セブ」イロイロハ甚ク静穩ナル由  
ハ、  
官觀戰ノ件ニ付「アンダ  
ルソ」少將ニ照會セシ處

九、  
「昨日左ノ如ク回答アリタリ  
メリ」ト「將軍ノ到着迄ハ余ノ獨断ヲ以テ取計  
ヒ難シ」但シ其以前ニ於テ重要ナル事態ノ出来  
スヘキ時ハ余ノ權内ニ於テ何分ノ取計ヲ為ス可シ  
官ハ「明日「カヴェイテ」方面ヲ視察セントス」  
(終)